健康診断を個別で
受診された組合員は
必ず補助金申請を！
詳しくは組合へ！

ウイング

発　行　所
いわきウイング建設組合
〒970-8026いわき市平字三倉36-2
TEL（0246）２３－８８０７
FAX（0246）２３－８８５９
E-mail iwaki@kensetufukushima.gr.jp

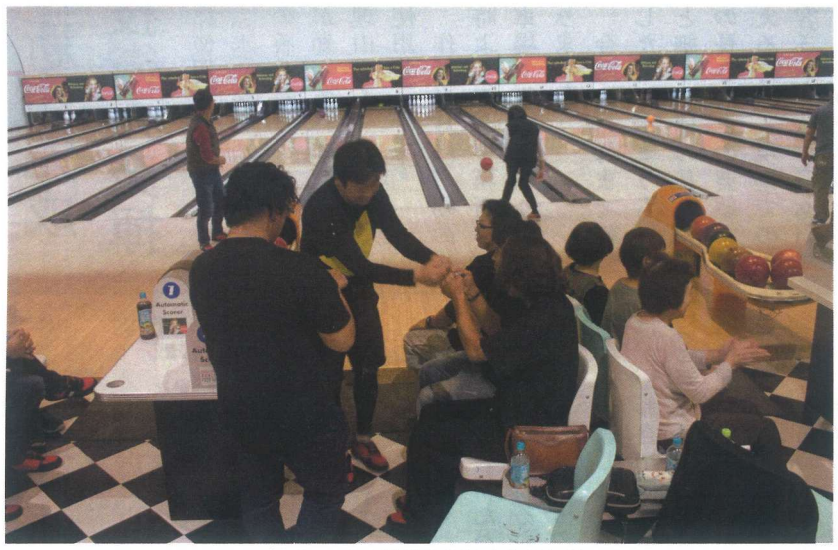
体の免疫力をアップ

元気の源は「笑い声」

第14回いわきウイング建設組合分会対抗ボウリング大会を９月６日にスポルト平で一年ぶりに開催しました。

開会式では、鈴木組合長から「ケガをしないように楽しんで優勝を目指してください」と挨拶がありました。

各自の練習後に鈴木組合長による始球式が行われ、７分会・青年部・主婦の会・寿会の合計13チーム総勢65名によるボウリング大会がスタートしました。


グータッチで喜びを共有する参加者

プレーが始まると会場の中には「ピンの倒れる音」「拍手と歓声」が響きわたり大会の盛り上がりを感じました。

今回の参加者の中には３名の外国人組合員さんも参加しており、初めてボウリングをプレーするのか、事業主さんが身振り手振りで一生懸命投げ方を指導していました。

実際にプレーすると、上手くいっても失敗してもにっこり笑いながら楽しんでおり、事業主さんが見守っている様子は微笑ましい光景でした。

閉会式で各賞が発表され豪華景品が授与されました。団体の部は、優勝が常磐遠野分会Ａチーム、準優勝が青年部、第３位が浜東Ｂチームという結果になりました。

個人の部では、優勝が３０７ピンで青年部の味原恭平さん、準優勝が平分会の福地秀人さん、第３位が常磐遠野分会の越戸力さんとなり、ケガもなく無事終了しました。

「笑い」は体の免疫力をアップさせます。組合員の交流と体力向上を目的としたボウリング大会は、会場に広がった「笑顔」と「笑い声」で皆さんのこころと身体を元気にする「源」になったことでしょう。

地域貢献

当組合の「寿会」15名と「主婦の会」６名は、組合事務所近くにある「下の町公園」において、９月12日に合同の清掃ボランティア活動を実施しました。

同公園を維持する「平第26区内会（鈴木良治区長）」が草刈と選定を事前に実施し、当日は寿会と主婦の会が刈り取られた雑草の袋詰めを中心に公園の美化作業に取り組みました。

雑草を詰めたゴミ袋は95を数え、90分程度のボランティア活動に汗を流しました。

参加者からは、地域の子供たちの遊び場、住民の憩いの場がきれいになって良かったと話しがありました。

蚊に刺される人もいましたが、当日は怪我をすることもなく、清掃活動を終えました。

次年度以降も寿会・主婦の会として、地域貢献活動に取り組みますので、案内が届きましたら参加のご協力をお願いします。


協力して袋詰めする寿会と主婦の会の参加者

中央建設国民健康保険組合いわき出張所令和７年度決算状況

（単位：円）

○歳入の部

内　訳		決　算　額
１	国民健康保険料	613,375,528
２	現金給付	2,004,783
３	不当利得等	22,029
４	健康診査補助金等	1,942,193
５	出張所運営費	8,640,118
６	繰越金	128,055,223
合　計		754,039,874

○歳出の部

内　訳		決　算　額
１	国民健康保険料	616,349,355
２	現金給付	2,004,783
３	不当利得等	22,029
４	健康診査補助金等	1,942,193
５	出張所運営費	7,621,977
６	次年度繰越金	126,099,537
合　計		754,039,874

中建国保いわき出張所の令和７年度事業会計及び積立金会計について、令和８年９月１日に会計監査を実施し適正に処理されていることを報告します。
国民健康保険料未収金内訳（令和８年３月31日現在で令和７年度分未収保険料７名５３８，８５４円）

計量化した新作完成
持ち前の技術力発揮

いわきウイング建設組合青年部は、８月23日に青年部役員３人が組合事務所に集まり、木製レーキ（通称：トンボ）を手際よく作製しました。

この活動は今回で８回目となり、組合の宣伝と地元の子供たちに建築・建設業者の技能や技術を理解してもらう一環として、木製レーキを作製し寄付をする目的で行っています。

作製にあたって、事前に味原青年部長（建築大工）に木材や金具の在庫の確認や不足材料の手配をしてもらいました。

すると後日、味原部長より組合事務所に連絡があり「やばいピンチだ」とのこと。これまで使用していた同じ部材が廃盤になっており手に入らなくなってしまったとのことです。

しかし同じような部材を購入し、自分たちで加工すれば大丈夫だとのことで、持ち前の技術力を発揮してもらい作業に取り組んでもらいました。

ちなみに木製レーキに使用している木材は、「水や湿気に強い・木の香りが良い・みんなが知っている」などの理由から「ヒノキ」を使用しています。

作製当日は、朝の８時より組合事務所の駐車場で作業に取り掛かりました。

今回はこれまで作製したトンボよりも、こと細かく柄の長さや板の長さなどの要望を伝えると、「現場でのお客さんより注文が多い」と３人の青年部役員に笑われるなど、和気あいあいとした雰囲気で作業に取り組みました。

作業開始から約４時間で木製レーキ10本が完成しました。

これまでより柄の長さを15㎝くらい短くし、砂を均す板の部分も20㎝小さくすることで軽量化に成功しました。

これにより子供たちもより扱いやすくなる見込みです。新たな子供たちの手に渡るのが楽しみです。

今回作製したレーキは、いわき市内の中学校と野球スポーツ少年団に配布することが決まっています。

今後配布時期を調整して直接お渡しに伺わせていただきます。



協力して作製に取り組む青年部役員

息の合った作業
適時休憩忘れずに

今年は、第３支部団６分団１班の消防団屯所の鉄骨外階段の塗装と造作棚の移動・取付作業を行いました。

鉄骨外階段の塗装では、階段のサビがひどくサビ落としからの作業で大変でした。また当日はとても暑く余計に苦労しました。

しかし、活動者同士の息の合った作業と適時休憩を取りながら順調に取り組むことができました。

造作棚の移動では、棚の後ろ側に固定してあった留め具を上手く外すことができスムーズに移動できました。また移動後に高さの調節と鉄骨外階段で使用した残りの塗料を使いタッチアップして作業を完了することができました。

作業終了後には、消防団の皆さんから「暑い中、ご苦労様でした」「とてもきれいです、ありかとうございました」とお礼の言葉をいただきました。

暑い中で全員が汗をかきながらも、みんなで協力しながら作業に取り組む姿はすごくかっこよく見えました。

活動した役員の皆さん本当にお疲れさまでした。

（勿来分会　高木文孝）



協力して階段塗装に励む活動者



新しい網戸に貼り替えをする活動者（全部で12枚）

住宅デー前半の取り組み

全建総連の住宅デーは、地域の皆さんに私たち建設職人の仕事や技能を理解してもらう取り組みとして１９７８年に第１回住宅デーが開始され今年で第49回を迎えます。

いわきウイング建設組合では、毎年開催しており、これまでの活動において仕事確保に結び付いた分会もあります。

今年度は６月から８月の間に「好間分会・勿来分会・東部分会・常磐分会」の４分会で実施されました。

好間分会では６月28日に下好間集会所の内部修繕と手すりの取り付けを行いました。

勿来分会では７月19日に仁井田町消防団屯所の内部棚移動・設置と外階段の塗装を行いました。

東部分会では７月19日に沼ノ内公園のベンチ修繕と東屋の上部撤去と枯枝の伐採を行いました。

常磐分会では８月２日介護老人保健施設サンライフゆもとの内装壁修繕と網戸貼り替えを行いました。

どの分会も、実施先より大変喜ばれ、仕事確保に結び付きそうな分会もありました。

10月以降も「浜東分会・平分会・北部分会」の３分会で開催を予定しております。

住宅デーは、多様な業種が加入している組合だからこそできる取り組みです。また、顔を合わせることで組合員同士がつながりを再確認することもできる貴重な活動になっています。

ご協力をいただいた分会役員の皆様大変お疲れさまでした。

（書記局　伊藤栄里子）